



5月園だより

令和 5年 5月 1日
目黒区立大岡山保育園園長

5月のさわやかな風に園庭のこいのぼりが動いている様子を興味深げに目を輝かせて眺めながら保育士や友達と会話を楽しみながら遊んでいます。

入園・進級お祝い会では入園した子どもたちの顔合わせとして4、5歳クラスの同じマークの異年齢ペアで宝探しをして遊びました。5歳児クラスが手裏剣や花などの折り紙を折り、園庭のあちこちに隠して準備をしました。5歳児クラスがペアの4歳児クラスの子どもの手をつなぎ、宝を探していきます。5歳児クラスの子どもたちはなるべく4歳児の子が自分で見つけられるように、「このあたりにあるかも」とヒントの場所にさりげなく手を引いていきます。あるペアは見つけるのに時間がかかってしまい、5歳児の子がやむを得ず見つけて手渡しをしました。すると「自分で見つけたかった」と4歳児の子が悲しそうな顔をし、立ち止まってしまいました。5歳児クラスの子はとまどいながらも再度探すことにし、その子が自分で見つけるまでじっと見守っていました。やっと見つけられるとその子は嬉しそうに折り紙を手に取り、その姿に5歳児の子はほっとした様子でその子の手を引いて他の子どもたちのところに戻りました。異年齢の活動は小さい相手に対してどのように振る舞ったらいいのか、どうしたら相手が安心して楽しいと思えるのかということを通して学んでいく大事な経験の場であることを改めて感じました。1週間後には3歳児クラスも交えて自己紹介をしあい、ジャングルジムでの宝釣りや金魚すくい、トンネル滑り台などの遊びを楽しみました。園庭が1つのテーマパークのようになりぎわった楽しいイベントとなりました。(写真は玄関のホワイトボードに掲示しています)

5月は、季節がら緑も美しく過ごしやすい気候となります。暑さ対策も講じながら戸外の遊びを楽しんでいけるような活動計画をしていきたいと思えます。

今月の予定

春の定期健康診断(幼児)

春の遠足(4・5歳児)

春の定期健康診断(乳児)

ポニー教室(5歳児)

中旬 田植え

中旬 身体測定 避難訓練

クラス懇談会

5歳児クラス

2歳児クラス

3歳児クラス

4歳児クラス

0歳児クラス

1歳児クラス

時間：16:30~18:00です。

場所：ホール

※参加される際はスリッパ等をお持ちください。

6月の予定

耳鼻科検診(3・4・5歳児)

眼科検診(全園児)

夏祭り(3・4・5歳児)

歯科検診(全園児)

中旬 身体測定 避難訓練

※訂正とお知らせ

4月1日に送信した年間行事計画に訂正があります。

修正したものはコドモンの資料室に入っておりますのでご覧ください。



友達と一緒に力を合わせてこいのぼりを作りました（ぶどう組）

大きな布を使い「絞り染め」という方法で友達と協力して作りました。初めてのことに、子どもたちは「どんなふうにするんだろう」「どんな模様ができるんだろう」と想像しながらワクワクした表情で保育士の説明を聞いています。布にゴムを巻き付けるときに「あ、模様が見えたよ」と教えてくれる子がいました。布にできるしわを見て「きっとこれが模様になるんだな」と気付いたようです。すると、その言葉を聞いた他の子どもたちも自分の手元をよく観察し「本当だ。模様がある」と嬉しそうでした。また、染め上がった布を洗ったり絞ったりするのは根気のいる作業でしたが、最後まで友達同士で声を掛け合い、役割を決めながら協力して行う姿にも成長を感じました。

1週間後、いよいよゴムを外す時がきました。目の前に現れた輪模様に子どもたちは目を輝かせ「うわー」「すごーい」と歓声を上げていました。

みんなで力を合わせて作った世界で一つのこいのぼりは、今日も元気に保育園の玄関で泳いでいます。



進級した幼児クラスの様子を紹介します

3歳児 さくらんぼ組

子どもたちは園庭で水を使って遊ぶのが大好きです。始めは砂場に穴を掘り水を流すだけだったのですが、保育士がシャベルで水路を作ると、それを真似て子どもたちも作り出しました。作った水路に水を流してみると、すぐに流れが止まってしまう「止まっちゃったね」と不思議そうに見ています。起伏があるために上手く流れないのですが、保育士はあえてそれを知らせず「どうしたら流れるかな」と呟き子どもたちがどうするか見守っていました。すると一人の子が水の止まったところを掘り始めました。周りでは他の子どもたちがその様子をじっと見つめています。しばらく掘った後に再び水を流してみると、今度は上手く水が流れました。それを見た子どもたちは一斉に笑顔になり大喜びです。今では友達と水路をつなげたり、山を作ってみたりと工夫しながら遊んでいます。

これからも、遊びの中での子どもたちの気付きを大切にしながら楽しんでいきたいです。



4歳児 れもん組

れもん組になり、ぶどう組と遊ぶ機会が増える中で色々な鬼ごっこを教えてもらい楽しんでいます。クラスの中でも、ルールを覚えた子どもたちが中心となり、鬼ごっこをする姿が増えてきました。園庭や公園に行くと「一緒にやろう」「うん、いいよ」と自分たちで声を掛け合いながら仲間を募っています。その時は断っても、友達の楽しそうな姿を見て後から仲間入りする子もいて、鬼ごっこの輪が広がっていきます。ある時、鬼になるのが嫌で泣いてしまいやめてしまう子がいました。保育士は他の子と遊びながら様子を見てみると、「先生、最初から走っていると疲れちゃうから初めは隠れていて後から出ていくことにする」と自分で考えたことを伝えてくれました。自分で考えた作戦に勇気づけられ再び鬼ごっこの輪に戻っていきました。

鬼ごっこを楽しむ中で子どもたちは様々な気持ちと向き合っています。時には悲しいことや悔しいこともありますが、それも乗り越えて友達と遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにしていきたいです。

